

本大会特別ルール（改訂）

1. 本大会は、2019 年度公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレー4人制競技規則に準じて実施する。但し、ネットの高さは、男子 2m30cm、女子 2m15cm とする。
2. 大会使用球は、ビーチバレーボール 5号球、男子：モルテン製、女子：ミカサ製を使用する。
3. 競技形式
 - (1) 予選グループ戦、決勝トーナメント戦とする。
 - (2) 全試合 1 セットマッチ。15 点先取とし、デュースの場合は 17 点で打ち切りとする。
 - (3) チェンジコートは両チームの得点合計が 5 の倍数でスイッチする。
4. コート上の選手が負傷およびその他の理由によって、3 人以下になった場合は、試合を没収とする。
5. 試合中の服装は、チームの選手全員が統一した服装でプレーすること。
6. チームは、1 回（30 秒）のタイムアウトが認められる。
7. チームは最大 4 回の選手交代が認められ、1 度に複数の選手の交代ができる。
8. 監督またはゲームキャプテンが、競技中断(タイム・アウト、競技者交代)の要求をする場合は、はっきりとしたハンド・シグナルで申し出ること。
9. ボールをプレーする動作中やプレーを阻止しようとする際に、ネットに触れた場合は、タッチネットの反則となる。
10. 次のように、アタックヒットが完了したときは、反則となる。
 - (1)相手チームの空間にあるボールをヒットしたとき。
 - (2)指を開いたティッププレーや、指を用いてティッププレーをする際に指を固定し合わせずに、アタックヒットを完了したとき。
 - (3)相手のサービスしたボールをボールが完全に高いところにあるときに、アタックを完了したとき。
 - (4)オーバーハンドパスで、両肩に対して直角でない方向にアタックヒットを完了したとき。但し、自チームの選手へボールをセットアップした場合は例外とする。オーバーハンドパスで、自チームヘトスを上げたボールが風で流されて相手コートに入った場合は、アタックヒットの反則としない。
11. チームにおける 1 回目のプレーでは、それがオーバーハンドで指を用いたプレーであっても(強打されたボールでなくても)、ボールが身体の 2ヶ所以上に連続して当たっても、1つの動作中のものであれば許される。
12. ブロックへの接触は、チーム 1 回目のプレーとして数えられず、その後さらに、3 回の

プレーができる。

12. ブロックのとき、ボールが1人あるいはそれ以上のブロッカーに連続(素早く連続的に)して触れても、それが1つの動作であれば許される。

13. サーブ権は、各チームのキャプテン同士のジャンケンにより決める。

14. 準決勝まではセルフジャッジで行う。

15. その他

(1) チームのベンチ席は設けませんので、監督及び控え選手は、副審側のコートサイドに、審判に分かるように控えてください。サイドコーチは認められません。監督及び控え選手や応援する方は、ご注意ください。(例:ボールの IN・OUT やプレーの指示等)また、コート廻りで日傘の使用については、プレーに支障を与えることも想定されますので使用しないように呼び掛けください。

(2) コート内の砂が高温になることから、足の裏のやけど防止のため、運動靴の着用を認めることになりました。当日、各選手は運動靴を履いてのプレーを推奨いたします。

以上。